令和９年度　日本大学経済学部　総合型選抜（探究学習評価型）
第二次選考審査の講評

日 本 大 学 経 済 学 部

総合型選抜（探究学習評価型）の第二次選考を「口頭試問」により行いました（令和８年１０月１８日（日）実施）ので，次のとおり講評いたします。

なお，御質問には一切応じかねますので御了承ください。

「口頭試問」講評

１．総評

探究学習の過程や成果，参考文献の内容を自分の言葉で説明できた受験生が多く見られた。生徒が実施する調査に対して協力的な雰囲気があるといった，生徒の探究学習の取り組みを学校全体で支援していると思われる事例も見られた。面接者の質問に対して，あらかじめ準備した回答を述べるだけでなく，質問の内容を吟味し，考えを慎重にまとめたうえで自分の言葉で説明できた場合に，探究学習で取り組んだ内容が自分のものになっていると判断し，高く評価した。

２．評価項目ごとの講評

（１）探究活動のプロセス

受験生自身の生活経験や各教科の学習経験から自ら問いを立てたもの，自身の気づきを十分に掘り下げて研究目的を設定したものが多く見られた。体験先の訪問記録や収集した資料の解説にとどまっているものは見られなかったが，学校があらかじめ設定したプログラムや企業が提供したプログラムに，当事者意識を十分に持てないまま取り組んだと思われるものは，低く評価した。

（２）知識・関心

提出された探究学習の成果物や概要説明書に記載された用語，引用・参考文献の内容，制作物に用いた素材やプログラミング言語の特徴などについて，適切に説明できたものを高く評価した。全体として，探究学習に意欲的に取り組んだ様子がうかがえた。

（３）論理的な思考力・表現力

目的，方法，結果，考察が一貫しているもの，適切な方法を用いて問いへの答えを導いたものが多く見られた。ものづくりにとどまらず，制作物が社会的課題の解決にどのように寄与するのかを筋道立てて論じたもの，自身の考えを先行研究や異なる立場の意見と比較して相対化したうえで結論を示したものを高く評価した。

（４）学習態度

知識を互いに与え合い，多様な見方を掛け合わせながら新たな考え方を導くことや，個人探究であっても互いに得意なことを発揮しながら助け合うことの大切さを具体例とともに説明したもの，探究学習の協力者に対する結果のフィードバックを心がけながら取り組んだものを高く評価した。一方，単に探究学習で得られた知見や成果を第三者に普及するという説明にとどまっていたものは低い評価となった。

以　上